



## 互いに支え合い合う応援協定

大規模災害発生時に、互いに応援し合う協定を1月17日、本市と宮城県南三陸町が締結しました。この協定は東日本大震災で被災した南三陸町の復興支援のため、本市が職員を派遣して、互いに応援し合います。佐藤仁南三陸町長は「職員派遣に感謝している。発災時に近隣自治体との協定が機能しないことも多く、遠方自治体との協定は大変重要。もしもの際は、初動対応など、震災を経験した職員の知識や技術を提供できる」と力を込めていました。



南三陸町との災害時相互応援協定調印式

## 青空の下、健脚を競う

体力向上と健康増進を目的とした高崎クロスカントリー大会が1月21日、高崎総合公園で開催されました。親子の部や3歳の行程で競うスーパーハードの部など12種目に、市内外から約350人が出場。選手は、家族らの声援を受けながら、起伏に富んだコースで、健脚を競い合っていました。親子の部で1位を獲得した中崎芽依さん(高崎町縄瀬)は「勝ちたかったので保育園のマラソンなどでもがんばって練習した。お父さんと走れたこともうれしかった」と息を弾ませていました。



高崎クロスカントリー大会

## 東京2020に投票で参加

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会のマスケットを決める投票が1月24日、高城小学校で行われました。全国の小学生の投票により、東京大会のマスケットを決めるこの取り組み。児童らは、オリンピックの趣旨や3組の候補のテーマを学んだ後、どのマスケットがふさわしいかグループで討論し、投票しました。徳丸陽大さん(6年生)は「どれもいいマスケットでとても迷ったが、みんなの意見を聞いて決めた。選んだマスケットに決まるとうれしい」と話しました。



東京オリ・パラマスケット投票

## 簡単に証明書を取得

2月1日から市役所1階市民課窓口で、マイナンバーカードを使って、住民票の写しなどの証明書が取得できるようになりました。通常、窓口で証明書を取得するには、申請書を記入・提出し、発行まで待ち時間があります。専用タブレット端末では、読み取り機にマイナンバーカードをかざし、自分で手続きできるので、待ち時間が大幅に短くなります。池田市長は「コンビニ交付サービスと同じ操作。職員が手助けする端末で一度経験すると、コンビニでも手続きしやすくなる」と話しました。



らくらく窓口証明書交付サービス開始

## 高レベルの技術を学ぶ

都城市卓球協会主催の技術講習会が2月3日、都城運動公園体育館で開催されました。平成29年5月に学友校法人日本体育大学と本市が包括連携協定を締結し、連携事業の第1弾として開催したこの講習会。講師に同大学卓球部の鄭教授と選手を招いて、小・中学生ら約180人が基本的なボールの打ち方などを学びました。参加した野村龍馬さん(妻ヶ丘中1年)は「講習会で自分の技術が上がるのがうれしい。教えられたことを今後の試合などに生かしたい」と意気込んでいました。



日体大教授を招いた卓球協会技術指導





## 地域みんなで開通を喜び！

地域高規格道路都城志布志道路の梅北工区（梅北IC・金御岳IC）2.5キロが、2月3日から利用できるようになり、同日、開通祝賀式が梅北小学校で開催されました。式の終了後、地元住民ら約100人が参加し、金御岳ICでテープカットを実施。防災・経済・医療の道を象徴する各車両が通り初めを行いました。また、1月20日には開通に先立ち、記念ウォーキング大会が開催され、市民ら約700人が参加。中郷地区まちづくり協議会による振る舞いが行われ、地域一体となって開通を喜びました。



都城志布志道路梅北工区開通祝賀式

## 健康づくりで広がる触れ合いの輪

ふれあい健康ウォーキングin祝吉が2月11日、島津稲荷神社から祝吉ホテルの里、沖水川河川敷を歩く行程で開催されました。祝吉地区まちづくり協議会が企画。地区内外から集まった参加者約350人は、6キロの行程のごみ拾いをしながら、汗を流していました。同協議会の永田優（まさよし）さんは「祝吉地区まち協挙げてのイベント。予定を上回る人数の参加があり、とてもうれしい。このイベントをきっかけに、祝吉地区に触れ合いの輪が広がっていることを実感している」と手応えを話していました。



ふれあい健康ウォーキングin祝吉

## 一人一人が学びを深める

「都城教育の日」記念講演会が2月12日、総合文化ホールで行われました。本市では、市民一人一人が学びについて考え、理解と関心を深める原点の日として毎年2月18日を「都城教育の日」と定めていて、その普及啓発のために講演会を開催。市民ら約600人が参加しました。元東京学芸大学学長の鷲山恭彦（やすひこ）さんによる講演や、本市出身の東口次登（つぎと）さんが演出を務める人形劇団「クラルテ」による人形劇などが行われ、参加者らは楽しみながら学ぶことの大切さを確認していました。



「都城教育の日」記念講演会

## スポーツキャンプ

### みやこのじょう

サッカーJリーグチームや、女子ソフトボールチームの春季キャンプが1月下旬から2月にかけて高城運動公園などで行われました。キャンプ初日には、歓迎セレモニーを開催。本市の特産物などを贈呈し、選手らを激励しました。



シノギ製薬女子ソフトボール



ツエーゲン金沢



日本精工女子ソフトボール



栃木SC

# 人 風景

smiling faces of miyakonojo

昨年10月に開催された平成29年度都城市地域福祉推進大会で、厚澤アンネグレーテさんが「都城市社会福祉協議会会長表彰」を受賞しました。長年にわたり、市内でボランティア活動や社会福祉に功労のあった個人や団体などをたたえる同賞。初めて市内在住の外国籍の人が受賞しました。

デンマーク出身のアンネグレーテさんは、結婚を機に来日。10年ほど前から夫の実家のある都城で生活しています。現在は、本市のA.L.T(外国語指導助手)として、市内の小学校で子どもたちが英語や外国の文化に親しむ機会を支援

しています。A.L.Tとして活動する一方で、広く市民との交流を深めていて、世界各国の文化などを紹介する「ワールドフェスタ」にも毎年参加。子どもたちも楽しめる手芸などを紹介しながら、自国デンマークの文化を伝えていきます。この他、日本文化にも興味を持ち、日本語教室で習った書道が県国際交流協会の主催する「外国人が見た宮崎」作品展で最優秀賞を受賞するなど、その活動は多岐に渡ります。

地域活動にも積極的に参加しているアンネグレーテさん。都城に移り住んで間もなく、近所の人の勧めで地元の横市地区ボランティア連絡協議会に入会しました。「活動を通じてたくさんの人と知り合うことができ、地域のことがかかるようになる」との思いからボランティア活動を続けています。




平成29年度  
「都城市社会福祉協議会会長表彰」  
受賞  
厚澤アンネグレーテさん  
(蓑原町)

とがともうれしい」と、ボランティアのやりがいを話すアンネグレーテさん。同会の永山廣子<sup>ひろこ</sup>会長は「地域にとけこんでいて、いろいろなことに率先して取り組んでくれる素晴らしい人」とその人柄をたたえます。

このような日ごろの活動が認められ「都城市社会福祉協議会会長表彰」を受賞。「ボランティア活動でたくさんの人の役に立ててうれしい」と目を細めるアンネグレーテさんは「これからもたくさんの人の笑顔に出会えるよう、活動を続けていきたい」と意気込んでいました。





ボランティア活動を通じて  
たくさんの笑顔に出会いたい